

会員短報

○草深（そうふけ）の森から結縁寺（けちえんじ）

自然観察をそれなりの年数してきて、家族から感謝されたのは、今回が初めてです。コロナによる行動制限の影響で、この2か月間、週末毎に人の少ない自然豊かな道を家族に案内した成果？です。主に、印西と船橋の色々なルートを歩きましたが、いずれも、過去、私たちの会で観察会をした所です。

田植え直後の美しい谷津の道を歩いていると、さまざまな植物、昆虫、鳥に会え、しかも、ほとんど人に会わない、という贅沢！いずれの所も甲乙付け難いですが、特に評判が高かったのが、印西の草深（そうふけ）の森から谷津に降り結縁寺（けちえんじ）に至る道。

草深の森は、適度に手入れが行き届いた森で、軽井沢みたいとの声も。青紫色のタツナミソウの群落が見事でした。

奈良時代創建とされる結縁寺の周辺は、日本の里百選に選ばれています。穏やかで美しい現役の谷津田と集落の眺めでした。

（5月10日散策 山口正明 船橋市）



○全国トンボサミットの中止

「全国トンボ・市民サミット <<http://tombosummit.org/>>の連続開催が31年目で途切れしました。今年は6/7-8(土日)に愛知県豊田市で全国のハッチョウトンボ保護活動の状況を語り合う予定でした。2001年の第12回は自然観察ちばも共催して市川市で開催した市民集会、毎年全国持回りで百余名が集ってききましたが、新型コロナウイルス禍の襲来で、参加者や協力者の健康と安全を第一に1年間延期としました。これまでに創設発起人の諸先輩方の多くが引退され、今日、全国事務局の重責を担う身としては苦渋の決断でした。2021年6月に豊田市での再開を予定していますが、今後の社会情勢を踏まえ、開催予定が確定しましたら、改めてお知らせいたします。（高木純一 習志野市）



○谷川岳に行ってきました

妻が義母の介護のため、みなかみ町に行くので送っていった。私は、チャンスとばかり、山の様子を見に行くことにした。車が習志野ナンバーなので、白い目で見られないか若干の不安を抱えながら、谷川岳に向かった。マスクをしてロープウェイに乗り込んだが、客は私一人。天神平からは登りなので、マスクを外し、おいしい空気を吸いながらシラネアオイやオオカメノキのみずみずしい花を眺めながら歩いた。登山客は、ほんの数えるほどで、この日は30人足らずだった。エソハルゼミの合唱を聞きながら、右手に朝日岳をはるかに望み、手前は西黒尾根がせりあがっている。道沿



いにイワカガミやらショウジョウバカマが花を咲かせていた。中でもイワウチワが今を盛りとたくさん咲いていた。「イワカガミとの区別は何か？」と顔を近づけて観察して「なるほど」と納得した。

道はやがて急登になり、天狗のたまり場という岩場についた。ふと見ると、近くにホソバヒナウスユキソウが目にとまった。日当たりの良い岩場のため、早々と咲いたようだ。なかなかの気品のある花だ。

(勝股政雄 船橋市)

○花見川ルネサンスを目指して

『花見川を、ゴミのない、きれいな水と緑の水辺に戻し、次の世代に息継ぎましょう』を合言葉に、①花見川サイクリングコース周辺のゴミの回収、②花見川の水質調査、③花見川サイクリングコース周辺の植物の管理の各活動を通じて、都市空間の生活環境改善として、一級河川花見川流域の自然的環境の再生・保全に取り組んでいます。

現時点、『森林飽和』にある無駄に緑の多い、決して美しいとは言えない緑地であり、『絶熱危惧種』、『希少種』などスーパースターの生息も確認されていない、観察に耐えられる環境ではありません。だからこそ、非日常の保護区、観光施設ではない、特別感や力みなく日常生活の中にさりげなく自然的環境がある、そんな都市空間を目指しています。

活動地域が千葉県または千葉市の管理地のため、従来と違うことを行おうとすると説得と手続きに半端ない手間と時間を要しますが、特にサイクリングコース沿いの植栽の手入れを始めだしてから、『ありがとうございます』、『ご苦労様です』などと足を止め声をかけてくださる利用者の方も増え、励みになっています。(及川朋 千葉市)



○NACS-Jのページ紹介

<https://www.nacsj.or.jp/2020/04/19846/>

コロナにまけるな！Stay Home with Nature

家のまわりのふしぎな自然を見つけてみよう！
新型コロナウイルスで学校がお休みのみなさん、
お庭や花だん、草がはえているところには、「未知のせかい」があちこちに かくれていることに気づいていますか？ このページをヒントに「未知のせかい」をのぞいてみましょう！（三嶋秀恒 松戸市）



○立ち止まった春

春は出かけるのが忙しい。

それが突然の外出自粛となり、初めて家の周りで、立ち止まった春を探しに出かけました。君津の田舎は歩く人がほとんどいませんが、とりあえずマスクを持って、田んぼ周辺を凶鑑とカメラを片手に草本調べ。草本は樹木以上に苦手。ハルジオン、カラスノエンドウ、農家の石の塀の隙間にキランソウの青い花。



車で鹿野山に行き、ラーメン屋の庭に一面のクマガイソウ。うなぎ屋の裏山ではサイハイラン、ヒトリシズカ、イカリソウ、オドリコソウ。また知り合いのブログで田無の東大演習林でハンカチノキの花が咲いているとあったので、急いで君津の内山緑地に見に行きました。

そして今年の台風で荒れてしまった国有林の森で、枝や葉をどけてカンアオイに再会。

いつの間にか家の周りでは田植えが始っていました。

一瞬にして世界中の人々が「ノアの箱舟」のように、運命を共にする歴史的出来事が起きました。子どもたちへの影響を考えると心配になります。この時だからこそ、子どもたちに植物、昆虫などの自然を通して、生き抜く強さを感じる観察会が出来たらと思います。

(石松成子 君津市)

佐野さんの北海道便り

昭和の森担当の佐野です。

今年の4月から、仕事の関係で北海道に転勤となりました。北海道というと、知床や釧路湿原のような大自然を思い浮かべるかもしれませんが、街なかの何気ない緑の中にも北海道らしさが隠れています。そんな、北海道の身近な自然を紹介したいと思います。

ワスレナグサ

札幌市の街なかで、良く目につく花のひとつ、ワスレナグサ(勿忘草)です。少しでもスペースがあれば生えていますね。ちっちゃいのにたくましいですね(^-^)

千葉では同じ仲間のキウリグサはあちこちに生えているのですが、ワスレナグサは見たことありませんね。逆に札幌ではキウリグサが見当たりません。ちょっと不思議です(・◇・)?

あくまで、私の個人的考えですが、ワスレナグサは、「花の絵を描いてください」と言われたときに描く典型的な花の形をしていると思います(^O^) (5月20日)



ヤマシャクヤク

森さんぽで出会った草花です。

つい先日、遅い春がようやく訪れたかと思っていたら、もう初夏の姿ですね。これから、ますます、生き物たちが元気になる季節ですね\(^_^)/

さて、ちょっと遊び心で並べてみましたo(^o^)

1枚目がヤマシャクヤク、2枚目がルイヨウボタン、3枚目がチゴユリです。

「立てば芍薬、座れば牡丹、歩く姿は百合の花」

4枚目以降の花も、それぞれ個性があって素敵ですね(^-^)(5月24日)



クマイザサの花

先日、クマイザサの花が咲いたと投稿しましたが、今日、改めて見てみると、みごとに満開状態。だらーんと垂れ下がっているのが雄しべです。やはり、稲の花に似ていますよね(^-^)

60年に1度しか咲かないと言われている笹の花に出会えてラッキーですね\(^_^)/

(日本も広いですから、時々、どこかで笹に花が咲いたというニュースが流れていきますけどね)(5月30日)

(佐野さんのフェイスブックから編集しています)



樹木スケッチ ～描いて発見する自然のすばらしさ～

この度は、このようなチャンスを頂きありがとうございます。

私は元々絵を描くことは大の苦手でしたが、自分の子供達と一緒に生き物のスケッチをするうちに描くことの楽しさを知りました。このコーナーでは私が描いた季節の花をご紹介します。

(中田真也子)



<ハナミズキ>

今年は、少し遅めにハナミズキの花が咲きました。

ハナミズキは北アメリカ原産。ワシントンに贈った日本の桜のお礼としてアメリカから贈られた木ということで有名ですね。

アメリカには桜前線のようなハナミズキ前線のようなものまであるとのこと。

興味がわいてネットで検索してみたところ

・・なんと今アメリカのハナミズキは炭疽病の感染拡大で大変なことになっているとのこと。

最初検索した英語の記事で cluster という文字が目に入って「コロナのこと？」と思ってしまいました。

ハナミズキはアジアから入ってきた炭疽病に耐性がなく、感染を止めることが出来ず苦戦している

・・なんてま

さに人間と同じ。ハナミズキの故郷が大変なことになっている一方で、日本のハナミズキは元気です。

(少なくとも千葉市では) ハナミズキの故郷が失われないことを祈ります。

参考：https://www.ffpri.affrc.go.jp/thk/business/arc/past_info/documents/fw_067_1-2.pdf

2020年5月5日幕張海浜公園にて



<イボタノキ>

イボタノキを描きました。

幕張海浜公園の木々の間にひっそりと花を咲かせていたイボタノキを描きました。

残念ながら、盛りを過ぎて花はポツポツでしたが

木の大きさから、この木はきっと植えられたのではなく、タネから自分で育ったのだと思います。

折しも、丁度草刈りが入り、周りの草はきれいに刈り払われていました。

毎年繰り返される草刈りをかいくぐって大きくなったのだと思うと、「がんばったね。」と思わず声をかけてしまいました。

来年は満開の姿を見たいと思います。

2020年5月20日幕張海浜公園にて